

# 弥彦村社教だより

平成 27 年 11 月 20 日 NO. 1  
弥彦村社会教育委員の会

## 《はじめに》

「しゃきょう」というと、皆さんは「社会福祉協議会」と思われる方がほとんどだと思います。「社会教育法」において、市町村に「社会教育委員」を設置することができると規定され、弥彦村も 5 名の「社会教育委員」を設置しています。同法で「社会教育委員の職務」を以下のとおり定めています。

- 第17条 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。
- 一 社会教育に関する諸計画を立案すること。
  - 二 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。
  - 三 前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。
- 2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。
- 3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

市民の意向を社会教育行政に反映するため、社会教育委員制度が設けられています。行政と市民のパイプ的役割、橋渡しの役割が求められています。

弥彦村では、以前、公民館を中心とした社会教育的活動が盛んに行われた時期がありました。その後、様々な理由で活動が停止、縮小してきました。全国でも、同じような傾向が見られました。それと軌を一にするように社会的な問題が噴出するようになりました。この問題を解決するために、地域の活動を見直す機運が全国的に高まりました。そして、あの東日本大震災が発生し、「地域の絆」が改めて重要視されるようになり、地域づくりの活動が一層活発化しました。

弥彦村の社会教育委員も、このことを重要視し、地域づくりのための活動を盛り上げる決意をして、昨年度から具体的に活動を始めました。今年度は、以下の点に取り組みます。

- ① 社会教育委員について周知する
- ② 住民のニーズを調べる
- ③ 地域貢献活動を把握する
- ④ 地域興しの意見を集約する

月に一度、中学校に集合し、情報交換や研修や事業の計画を立てたりしています。その社会教育委員の会の活動を紹介するために、不定期ではありますが、「社教だより」を発行することといたしました。

## 《社会教育委員の紹介》

委員長	堀 隆行 (弥彦中学校長)	副委員長	吉田 良寿 (弥彦)
委員	本多 隆峰 (麓一区)	委員	平井 茂人 (村山)
委員	村越 隆典 (平野)	事務局	橋 芳延 (教育課)

※ ご意見のある方は、近くの委員、もしくは中学校、教育委員会事務局に  
お電話ください。(中学校 94-2101 事務局 94-1021)

## 《弥彦村地域づくり交流会の報告》

- <日時> 平成 27 年 11 月 14 日（土）10：00～12：00
- <会場> 弥彦村文化会館
- <参加者> 地域づくり関係団体、ボランティア団体など地域づくりに実際に取り組んでいる方、及び関心のある方・・・ 20 名参加
- <内容>
- ・ 地域づくりを行っている諸団体の実践を学ぶ。
  - ・ 村の利点や課題から、これからの村をどうしていくか意見交換する。
  - ・ ネットワークづくりにつながる情報交換をする。
- (課題)
- ・ 駅前の景観整備や街中の混雑時の改善など。
  - ・ 新しい団地などの若い世代が活躍してほしい。
  - ・ 世代間の連携が足りない。
  - ・ ネットワーク不足を感じる。
  - ・ 女性や高齢者の活動が十分ではないのではないかな。
  - ・ 里山が荒れて活用もされていない。
  - ・ グランド整備が一部できていない。
  - ・ 人口流出による人口減少や高齢化の進展、働く場所が少ない。
  - ・ 買い物する施設が少ない。
  - ・ 障害を持つ子どもが増えてきていることへの対応。
  - ・ 地域活動に熱心な人は限定的。村内イベント等に無関心な人が多い。
  - ・ 食と健康に関して観光戦略が練れないかな。
  - ・ 村をこうしたいと思う意思の統一。
  - ・ 粘り強くチャレンジしようとする子どもの力を育てる。
- (対策)
- ・ 災害が少ないことをアピールして住む人を増やす方法を考える。
  - ・ 観光資源をインターネットや動画配信でより多くの人に知ってもらう。
  - ・ 温泉街には無料の無線LAN環境があることをアピールする。
  - ・ 住民の活動が見えるような情報を伝達する仕組みづくり。
  - ・ 住民が学校を応援する仕組みづくり。
  - ・ 地域住民が気軽に入れる学校。
  - ・ 地域で子どものことを考える機会。
  - ・ 地域ごとの子育て支援、活動。
  - ・ 住民の意見を吸い上げる仕組み。
  - ・ 高齢者が活躍する仕組み。
  - ・ 高齢者を活用して若者を育てる。

### <委員のまとめ>

初めての取組ということで、うまくできるか心配しました。まずは、3つの班に分かれ、交流会をスタートしました。参加者が自分の活動や取組を発表して、互いを理解した上で協議に入りました。

弥彦の利点は、「豊かな自然や歴史、伝統文化があり、観光資源に恵まれている。お年寄りに元気がある。学校に関心の高い保護者が多い。」などが出され、改めて弥彦の良さを確認できました。併せて、課題も出し合いました。

課題をまとめると、環境、地域コミュニティの活動、若手の育成、地域や世代間の連携、地域の教育力、子育て支援、学校支援となるのでしょうか。それらの対策について、熱い意見が出され、それぞれの意見に興味をもち、感心しながら模造紙にまとめ、班ごとに内容を発表し合いました。

参加者のアンケートから分かるように、皆さんから肯定的な評価をいただきました。要望通り、2回目の交流会を企画したいと思います。ぜひ、多く方から参加いただけるよう、準備を進めてまいりますので、御協力をお願いいたします。

ます。

## 《弥彦村地域づくり交流会参加者アンケート》



### 1. 交流会に参加しての感想

- ・ 弥彦が良い地域だと改めて感じた。
- ・ いろんな立場の意見が聞けて勉強になった。
- ・ いろいろな意見が聞けて良かった。
- ・ いろんな人の声が聞けてよかった。
- ・ 各団体の代表者と話す機会となり良かった。
- ・ まじめに、実直な意見が多く出たと思う。
- ・ 緊張しながら参加した会でしたが、話しが進むにつれ率直な話ができる。
- ・ これまであまり話をしなかった人たちと話す機会ができてよかったと思う。
- ・ 非常によかったと思う。このような機会をもっと違う世代でやってほしい。
- ・ 諸問題を掘り下げる、分科会を設けて活用、専門分野の人たちを選ぶ。
- ・ いろいろな議論がありよかったが時間が足りなかった。
- ・ たいへん良い交流が出来たと思います。いろんな意見が聞けました。
- ・ 素晴らしい交流会を設定された社会教育委員の方々と村教委の方々に敬意を表します。益々このような機会を定期及び「適時」に設けていただき、参加者の幅を広げてほしい。
- ・ たいへん良かったと思います。会を多くやればもっと深くなると思う。
- ・ 様々の立場の方々が参加しての交流は、今後の弥彦の村づくりを考えるのにとっても有意義であった。是非今回の取組を村の広報で紹介したい。
- ・ いろいろな人の意見を聞くことが出来て、気づくことが多くあった。
- ・ 多種多様のジャンルの方々が参加したことに、意義があったと思う。

### 2. 地域づくりに関する意見

- ・ これから考えていきたいと思う。
- ・ 弥彦村内を活性するのか、弥彦村内の活動→外への発信なのか、弥彦村を含めた新潟地域のものなのかで必要な対策が違ってくる。それぞれの対策を解決する為に村外の力が必要なものを見つけられると、逆視点から見えるものが出てくるのでは。
- ・ より多くの村内で活動する人たちのグループとの交流を持ちたいと考えています。
- ・ 弥彦村発展のためがんばりましょう。手助けすることがありましたら手伝います。
- ・ 弥彦村の課題が浮き彫りになって良かった。
- ・ 農業産業と観光産業を結びつけて共に発展を図る。
- ・ この場で出た声のよいものを地域にもって行って役にたてたい。
- ・ 村民と観光客と関わりが少ない。社会教育委員が中心となった地域づくり協議会は大変すごい。各学校の地域教育協議会と合わせて二本柱として、コミュニティや団体のネットワークづくりに資してはどうか。素晴らしい歴史をもっている。これを村民や子どもたちが来村者や村民自体に伝えていくことで、リピーターも増えると思う。
- ・ 年寄りから若い人までもっと多くの機会を設けたほうがよい。
- ・ 商工会の行事を聞き参考になった。
- ・ 教育や地域づくりのネットワークづくりの重要性を感じた。ここから一步を踏み出していきたい。
- ・ 情報発信の仕組づくりが大事だと思った。
- ・ 小、中学校を中心とした各組織のネットワークを形成できればいいのでは。
- ・ マンネリ化した活動も多いと思う。現実に即した活動のあり方を考えていければと

思います。

### 3. その他ご意見

- ・ 今後早急に第2回を計画してほしい。
- ・ 次回もまた会合してもらいたい。
- ・ 今後も交流会をしてほしいです。
- ・ 交流の場を作っていただければ幸いです。
- ・ 地域交流会を毎年1～2回することで村の発展につながると思う。
- ・ 今後も、参加団体を増やしたうえで継続発展させてほしい。
- ・ 今後の意見をまとめて文書で各参加者へ配布してほしい。
- ・ 村行政の動き、組織の中にどう正式に位置付けるか。村行政とはフリーな関係を保ったほうがよい。社会教育委員会と関連づけて位置づけるのがよいと思う。社会教育委員の会へのバックアップをしっかりと行ってほしい。

